

文部科学省 大学発グリーンイノベーション創出事業（環境情報）

[ 若手向けセミナー ]

## 『大気成分観測の基礎ーサンプリング分析から衛星観測までー』

平成 23 年度に開始されました文部科学省グリーンイノベーション創出事業（環境情報）（略称、**GRENE-ei**）における人材育成、若手教育の一環として、若手向けセミナーを開催いたします。これは、GRENE-ei に関連する研究分野をわかりやすく解説するセミナーです。主に学部生から大学院生を対象としておりますが、どなたでもご参加頂けます。お近くの学生の皆様にも、ご案内を頂ければ幸いです。

- ・ 日時：平成 24 年 3 月 14 日（水） 10:00～15:50
- ・ 場所：秋葉原コンベンションホール 5 階 5A セミナールーム  
<http://www.akibahall.jp/data/outline.html>
- ・ 参加費：無料
- ・ 申し込み：[grene@aori.u-tokyo.ac.jp](mailto:grene@aori.u-tokyo.ac.jp) 宛に、所属・学年（職名）・氏名をお知らせ下さい
- ・ 問い合わせ先： 東京大学大気海洋研究所 今須良一 ([imasu@aori.u-tokyo.ac.jp](mailto:imasu@aori.u-tokyo.ac.jp))

## 日 程

- 10:00～10:40 「**大気中の微量成分分析手法**」 名古屋大学太陽地球環境研究所 松見豊
- 種々のレーザー分光法、化学発光法といった大気中の微量成分を「その場(in-situ)」で分析する技術を紹介し、適用範囲や測定精度について解説します。また、CO<sub>2</sub>ゾンデと呼ばれる気球を用いて大気中二酸化炭素の鉛直分布を測定する研究を紹介します。
- 10:40～11:20 「**大気サンプリングの基礎知識**」 気象庁気象研究所 澤庸介
- 大気のサンプリングに必要な道具立て、分析の基準となる標準ガスなどについて解説します。また、航空機を用いた観測プロジェクトの紹介を行います。
- 11:20～12:00 「**衛星による大気微量成分観測の基礎 ～我々は何を観ているのか～**」
- 奈良女子大学理学部 林田佐智子
- 人工衛星に搭載されたセンサーによる大気微量成分の観測原理の基礎について解説します。また、測定された光のスペクトルデータから大気微量を求めるリトリーバル解析と呼ばれる手法を紹介し、それによって得られる物理量から自然界の何を知らることができるのか、応用例をあげて解説します。
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～13:40 「**衛星による温室効果気体観測の最新動向**」
- 千葉大学環境リモートセンシング研究センター 齋藤尚子
- 温室効果気体を観測する日欧米の衛星搭載センサーについてレビューを行います。今後の新規ミッションや観測ターゲット、測定手法などについても紹介します。
- 13:40～14:20 「**スペクトル解析による大気成分分析の実際**」
- 東京大学大気海洋研究所 今須良一
- 各国の衛星搭載センサーのデータ解析方法についてレビューを行います。併せて、実際のデータ解析について仮想データを用いてその手順を具体的に解説します。
- 14:30～15:10 「**衛星データ検証の地上リモートセンシング**」 総合地球環境学研究所 川崎昌博
- 温室効果ガスのカラム密度を観測するための地上設置型リモートセンシング技術について解説します。地上リモセン結果は、衛星データ検証のみならず、炭素排出権取引を利用して発展途上国の環境保全に利用できる可能性について紹介します。
- 15:10～15:50 「**衛星によるバイオマスバーニング研究**」 東京大学生産技術研究所 竹内渉
- 衛星搭載の画像センサーデータの種類と解析から得られるパラメータについて解説する。特に、バイオマスバーニングに関連した植物量や火災に関する物理量の抽出について具体例を交えながら紹介する。